

# 園芸学科通信

## 第23号

■園芸学科39期・40期生・サポーター隊が合同で後期選択講座「夏の樹木管理実習」を受講  
 於：滋賀県立甲良養護学校

講師 北村 正隆 氏



平成29年度後期選択講座である「校外学習・夏の樹木管理実習」を、園芸学科39期生及び40期生とサポーター隊が合同で実施しました。  
 今回の研修は、夏の樹木管理実習として、平成30年8月21日、滋賀県大津郡甲良町金屋にある「滋賀県立甲良養護学校」で行われました。この日の「夏の樹木管理実習」に参加した方は、講師の樹木医であり、校外学習時において、樹木の剪定や庭園の管理方法を教えてくれる北村正隆先生をはじめ、レイカディア大学卒業が間近で、大学最後の校外学習となった39期生。そして40期生の園芸学科の仲間でした。また、樹木管理の実習時には厳しく、優しく、指導してくれる米原校サポーター隊のみならず、J.A.東びわこや甲良養護学校に関係する皆さんが参加してくれました。

当日は、甲良養護学校へ集合し、現地で解散であったため、あらかじめ決めていたとおり、御立などの道具類を車に運ぶついでに、居住通学地域にいたるメンバー数人づつがグループになり、自動車に分乗して向かいました。  
 甲良養護学校正門前に集合し、個々に出入確認を行なった後、養護学校の関係者の挨拶や北村講師による「剪定作業についての説明、作業にあたっての注意事項について」の連絡がありました。  
 以上より、剪定作業の開始です。あらかじめ班別指定を行った通り、作業場所に分かれ剪定作業に取り掛かりました。



作業にかかる前に、北村先生から注意事項の説明がある



剪定作業中に北村先生から指導を受ける

園芸学科39期生は、班ごとに分かれ大きな樹木や目の前の灌木を相手に、ノコギリやハサミを使って剪定作業を行いました。この日は、お盆を過ぎたにもかかわらず、夏の日差しがキラキラと強くまだ蒸し暑い気象条件のもとではありましたが、精力的に活動したため、作業は早く完了しました。  
 この日は、暑い日でしたが、作業に当たっては熱中症対策などの体調管理に努めましたし、養護学校側からの配慮で冷たい氷菓子の提供もあり全員無事に何事もなく実習を終えることが出来ました。



養護学校の正門を入った左側にある木の剪定前(右) 剪定中(中)と剪定後(左)



レイカディア大学・米原校



平成29年度後期選択講座「果実の糖度調べ」と果樹・野菜づくりのまめ」を習いました。講師は、松原治夫氏の指導のもと第2会議室に於いて実施しました。  
 レイカディア大学米原校に入学して2年の間、松原講師は、園芸の中でも果樹を中心に「果樹栽培の基礎・野菜づくり・土づくり」から始まり「果樹のポット栽培や果樹生産と利用・果樹の整枝や剪定・病害虫の駆除」まで教えていただきました。  
 8月7日の選択講座「糖度調べ・果樹と野菜作り」のまめ」は、松原先生の最後の授業となりました。

■糖度講座  
 果樹・野菜づくりのまめ」  
 講師：松原 治夫 氏



剪定を終わった養護学校の周りは、すっかりとした樹木に囲まれて、良い環境のもといながら帰路につきました。

午後の講義は、園芸学科の2年間を振り返り、松原講師の講義で学んだこと、経験したことなどを思い思いの感想を述べた時間となりました。今までの講義の中で疑問点を質問したり、各自が、2年間を振り返る点とことや反省点など、思い思いの感想を述べたり、これらを取り組んでいくことへの抱負を述べたこともあり、有意義な時間となりました。松原先生から教を受けた幅広い知識や経験は、野菜作りや果樹栽培に活かすことができるのではないかと確信する良い機会でありました。  
 今後とも生活の一部としての野菜作りや果物づくりに励んでいきたいという感想が多かったように感じました。



事前に糖度の基準として、講師が畑で収穫したトマト(アイコ)の糖度を確認しその甘さを基準に、各班のテーブルに配布された果物の糖度予想を行いました。各自に分配された果物の中には、普段なかなか口にできない品種もあり、大変良い機会でした。酸味がある果物や桃のような大きな種がある果物の食感も、糖度が低く感じられました。また、先入観で甘くないと感じた糖度が、実際には糖度が高く、味覚の予想が難しい場面もありました。



編集後記  
 平成30年8月31日発行「第39期・園芸学科通信」の「夏の樹木管理実習」を掲載いたします。  
 今日、園芸学科39期生と40期生及びサポーター隊が合同で樹木管理実習を行いました。場所は、滋賀県立甲良養護学校、夏の日差しが強い日でしたが、サポーター隊や学校関係者一同が樹木の剪定に環境整備に汗を流しました。  
 また、松原講師の選択講座「糖度調べ」は、最後の授業でした。2年間の教えに感謝し、今後とも生かしていきたいと思っています。